

4-6 整備費用

(1) 概算事業費

多目的交流センターの開業までに必要となる施設整備費（従来方式の場合）は以下のとおりです。

工事費は、昨今の物価上昇や資材等の運搬に必要となる離島調整費を考慮した金額で、類似施設の建設単価を参考に、建設単価を 60 万円/m²（税抜き）と想定します。

表 4-6-1 概算事業費

項目	金額（税込）
事前調査費・設計工事監理費等	155,000 千円
建設工事費等	2,050,000 千円
備品購入費等	45,000 千円
合計	2,250,000 千円

(2) 財源

多目的交流センターの財源については国の交付金、借入金（公共施設等適正管理推進事業債）、助成金（スポーツ振興くじ助成金等）及び一般財源での対応を想定しています。

なお、国の交付金については多目的交流センターの早期整備と国策の推進に適う補助制度を導入する必要があり、関係機関と協議を進めながら、町の一般財源の負担軽減に努めます。

・主な町費

公共施設等適正管理推進事業債 充当率 90% 交付税措置率 50%

6 維持管理・運営方針

多目的交流センターの維持管理・運営にあたっては、町民の多様なニーズに応え、小さい子どもからお年寄りまで幅広い世代が日常的に集いたくなる居場所づくりを目指します。

また、施設の維持管理・運営については、「指定管理者制度」を前提とし、民間が持つ専門性を最大限に活用し、良質な公共サービスの提供を目指します。

6-1 維持管理方針

多目的交流センターの維持管理については、計画的な点検や修繕等により、予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減を目指します。また、総合グラウンドの維持管理をあわせて実施することにより、施設及び設備の保守点検、警備、衛生管理等の業務の効率化を図ります。

◆維持管理方針

1. 予防保全型の維持管理

- ・ 計画的に点検や修繕を行う予防保全型の維持管理を実施し、施設状態の不良に対する安全性の確保や突発的かつ不要なメンテナンスコストの低減に取り組みます。

2. 長寿命化によるライフサイクルコストの縮減

- ・ 施設の適正な維持管理により長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減に努めます。

3. 利用者の安全・安心の確保

- ・ 多目的交流センター及び総合グラウンドの利用者が安全・安心に利用できるように、施設・設備の保守点検、警備、衛生管理等の徹底を図ります。